

研究機関：広島大学

研究課題名	口腔癌の術後局所再発に関する後ろ向き臨床統計
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子口腔医学・顎口腔外科学 准教授 虎谷 茂昭
研究期間	平成29年8月4日(倫理委員会承認後)～平成31年3月
対象者	1997年4月から2016年3月の間に、広島大学病院 顎・口腔外科で口腔扁平上皮癌の手術を受けられた患者。再発癌(放射線療法、抗がん剤治療後や他院での手術後の再発)は含みません。
意義・目的	癌治療後の局所再発は治療結果に大きな影響を及ぼします。 本研究では、口腔癌の局所再発を臨床的に、腫瘍細胞の遺残によるもの、前癌細胞の癌化、原発部位から離れた部位の2次初発癌の3タイプに分類し、臨床的因子、病理組織学的因子と各々の再発タイプとの関連を統計学的に解析します。 本分類の臨床応用により、口腔癌の予後不良症例への対応や術後の経過観察の手法の標準化などが図れると考え、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)と病理報告書の情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、年齢、性別、喫煙の有無、癌の部位と進行度、再発の有無、再発部位と時期などです。病理報告書からは、癌の分化度、浸潤様式、切除断端の状態などです。また、不明な点があれば病理スライドを参照することがあります。 (個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 准教授 虎谷 茂昭
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5667 広島大学病院 顎・口腔外科 職名 准教授 虎谷茂昭